

平成29年2月8日

平成28年度 第3回学校協議会 議事録

委員：浦田氏（大阪工業大学）、関元氏（西野田工友会会長）
山下氏（PTA 会長）、松本氏（野田阪神本通商店会会長）
矢野氏（株式会社大成C1代表取締役）、吉兼氏（元PTA 会長）

内容：

1. 開会 学校長挨拶

- ・3年生の学年末考査も終わり、3月20日から1、2年生の考査も始まります。生徒たちにとっても追い込みの時期です。また、昨年度より入試制度が変わり日程が2月から3月になったため、これから入試に向けた準備が本格化します。
- ・本年度は、中退防止の取組みとして遅刻指導や基礎学力向上に注力してきました。その成果もあり、生徒の様子は、昨年度に比べて落ち着いています。
- ・今年度、最後の学校協議会です。就職や資格取得、生活指導など1年間の成果についての報告させていただきます。さまざまな方面からの貴重なご意見をお願いします。

2. 学校教育自己診断について（参考：HP内、平成28年度学校教育自己診断）

（提出状況）

HP、PTAメール、職員会議などでの周知を図り、昨年比へ向上した。

生徒 710名（89.9%）、保護者 305名（38.6%）、教職員 89名（%）

（昨年度 生徒 692名（85.2%）、保護者 241（29.7%）、教職員 59（62.1%））

（生徒について）

- ・全体としては肯定的な意見が昨年度より増加している。（H27年度 66.8%→H28年度 68.2%）で、特に「先生の指導は納得できる」については全体として増加しており、生活指導部をはじめとする教員の丁寧な指導が実を結びつつある。
- ・「授業はわかりやすく行われている」について1年生で昨年より増加。1年生で実施している英語、数学での少人数展開授業、国語の基礎学力の時間（ティーム・ティーチング）、キャリアガイダンスの時間を使った基礎学力向上の取組みが高評価につながったと思われる。
- ・「学校の施設は、授業や生活がしやすいように、整備されている」については、全体的に減少している。自由記述でトイレの美化、実習室の環境整備に関する意見がある。
- ・「担任以外に相談できる先生がいる」については、学年進行で見ると増加している。高学年ほど系とのつながりが深まり教員への信頼感が増している。

（保護者について）

- ・全般的には、肯定的な意見が75%を維持できている。（1年保護者については80%超）

- Webページやメール配信について、助かっているとの意見がある一方、「学校行事に参加したことがある」の項目で肯定的な意見は増加しているが、約半数にとどまっている。
- 自由記述で、専門系の内容がよくわからなかったとの意見があり、1年生の系選択などにあたっては、丁寧に説明していきたい。
- 学校施設・設備については生徒・保護者とも評価が下がっている。

(教員について)

- 「教育相談体制が整備されている」は肯定的な意見が増加しているが、「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導をおこなっている」は減少している。
- 「生徒一人ひとりが興味・関心・適正に応じて進路が選べるようきめ細やかな指導がおこなっている」「生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる」の項目で肯定的な意見が増加しており教員自身が生徒に寄り添った丁寧な指導を意識していることを示している。
- 自由記述で組織だっただけで対応していない、個人的な力に頼りすぎているという意見があるものの「教育活動全般にわたる評価をおこない、次年度の計画に活かしている」の肯定的な意見が増加している。風通しの良い職場づくりやPDCAサイクルによる教育課題改善の取り組みを推進していきたい。

3. 就職・進学について

- 本年度の就職の求人は1月末現在、1494人（昨年度1201人）で大幅に増加している。
- 就職の実績は、学校紹介希望者158人中154名が内定を決定している。未内定の生徒についても現在指導中であり、100%の就職をめざしている。
- 公務員についても、建築都市工学系で1名が合格している。
- 進学については、希望者49名中39名が合格しており、残りの生徒は現在受験中である。

4. 資格取得について

- 延べ合格者数については1月末現在559人で昨年度（549人）に比べ、若干増にとどまっている。
- 今年度の特徴は、第2種電気工事士などで系を超えて受験した生徒がいること、QC検定など新しい資格指導への取り組みがあげられる。
- 今年度のジュニアマイスター取得者は、シルバー2名の予定である。

5. 本校の状況について

- 教務関係、生徒指導関係、進路関係、資格取得の月次推移について説明。
- 特徴的な項目として、生活指導の遅刻数が昨年比、50%以上減少している。

6. トピックス

①修学旅行について

10/25~28の3泊4日の日程で沖縄（民泊など）に2年生が修学旅行に行き、全員無事に帰阪した。

②生徒会活動について

生徒会役員の生徒たちの提案で以下の活動を実施していることを報告した。

- ・1/23（月）～28（金）に生徒会役員による朝の挨拶運動を実施。
- ・2/9（木）に生徒会役員とクラス美化委員による放課後の校内清掃を実施

③遅刻指導について

朝の登校指導での多くの教員による挨拶運動や身だしなみについての声掛け指導の様子を動画で視聴していただいた。

④広報活動について

今年度は、中学校訪問、学校説明会の回数を増やし、本校の良さを多くの中学生や保護者に知っていただく取り組みをおこなった。

7. 学校経営計画及び学校評価について（参考：HP内、平成28年度学校経営計画及び学校評価）

校長より、本日の各報告内容に基づいて平成27年度学校経営計画及び学校評価の説明をおこなった。

8. 来年度の学校協議会日程について

来年度の学校協議会の日程を以下のとおり説明した

- ・第1回：H29年 5月（日程は現在調整中）
- ・第2回：H29年10月 13日（金）
- ・第3回：H30年 2月 7日（水）

9. 意見交換

①進路指導に関して

- ・就職指導については、入社後の会社への定着も含めて、入学後6年くらいを見据えたキャリア教育を進めてほしい。そのために在学中の3年間で個々の生徒が自分のやりたい仕事のビジョンがデザインできるような指導をし、入社後の仕事のやりがいにつながり離職率が低減できれば良いと思う。
- ・進路部長より、現在、工科高校では、入社3年目離職率調査を3年前よりおこなっており、マッチングの取れた就職指導に向けて取り組みたい旨、説明した。

②生徒指導に関して

- ・昨年度に比べて50%以上減少していることは、大変素晴らしいと思う。「遅刻ゼロの日」の取り組みは、遅刻のないクラスを褒め動機付けをする活動として良いと思う。さらに、工夫し、学校に早く来た生徒やクラスにインセンティブを与えるような取り組み

を進めてほしい。たとえば、実現は難しいかもしれないが、早く全員が登校したクラスは、授業を早く始め、早く終わるなど柔軟な発想でいろいろな取り組みを検討してほしい。

- 生活指導面で良い数字（遅刻者数、特別指導者数）が出ているが、継続してよいスパイラルになるようにしてほしい。
- 授業時間内に私語をするなど、課題のある一部生徒については、個別に話をし納得させる指導を丁寧にすることで学習環境の改善をさらに進めてほしい。

③修学旅行・クラブ活動などに関して

- 沖縄の修学旅行は、生徒たちが生き生きしており良かった（うらやましい）と思う。宿泊学習は、生徒間や生徒と教員の関係づくりや自立に大変有効であると思う。費用負担の課題はあるが、高校生活に慣れさせ、クラスの間関係を構築するために入学直後に宿泊学習をおこなうことも有効だと思う。それにより、より多くの生徒が互いに協力や注意ができるようになり、入学後早い時期に授業に取り組む雰囲気ができると思う。
- クラブ活動についても同様で、クラブに参加し活動することで生徒は自立し成長する。クラブ活動の加入率を上げ、学校の活性化につなげてほしい。

以 上